

# ゆき市 議会だより

Yukicity council information

第197号

平成30年8月1日



## 副議長就任あいさつ



副議長  
黒川 充夫

平成30年第2回定例会におきまして、議員各位からご推挙をいただき、副議長に就任させていただくことになり、私自身この上ない光栄であり、責任の重さに身の引き締まる思いであります。

さて、現在国では、人づくり革命と生産性革命を車の両輪として、少子高齢化という最大の壁に立ち向かうため、「新しい経済政策パッケージ」及び「人づくり革命基本構想」を着実に実行するとしています。本市におきましても、子育て支援事業や地域経済の活性化を図るため、企業誘致促進事業に取り組んでいるところであります。

こうした中、市民の皆様から負託を受けた議会の副議長として、皆様の声を十分受け止め、地域の課題を解決し、「安心・安全に暮らせる豊かなまちづくり」を進めるため、微力ではありますが、誠心誠意努めてまいれる所存であります。皆様方のご指導・ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

# 副議長 黒川充夫 就任

第2回定例会 ▼ 会期13日間  
6月7日～19日

市長提出案件 8件(すべて原案のとおり可決)  
議員提出案件 2件

●選挙第1号 結城市議会副議長の選挙について  
稲葉里子前副議長から副議長職の辞職願が提出され指名推選により、副議長に黒川充夫議員が就任しました。また、それに伴い、議会運営委員会の委員についても変更があります。

・議会運営委員会 ◎早瀬悦弘 ○稲葉里子 大木作次  
中田松雄 船橋 清 孝井恒一  
平塚 明

●報告第4号 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

国民健康保険税の基礎賦課額に係る賦課限度額を54万円から58万円に引き上げ、均等割額及び平等割額の軽減措置に係る判定所得について、5割軽減及び2割軽減の基準所得を引き上げるもの  
●こんな質問がありました

Q 軽減措置の判定所得について、5割軽減及び2割軽減の基準所得の引き上げ額について伺います。

A 5割軽減の基準につきましては、被保険者数に乗じる金額を27万円から27万5千円に、2割軽減の基準につきましては、被保険者数に乗じる金額を、49万円から50万円に引き上げるものです。

## 人事案件

以下の方の選任について同意  
固定資産評価審査委員

関 仁一氏  
小島 浩一氏

## 請願

主要農作物種子法の復活等をもとめる請願  
(不採択)

## 第2回定例会 議決結果

議案	議決結果	大里克友	土田構治	會澤久男	湯本文夫	大橋康則	佐藤 仁	平 陽子	安藤泰正	黒川充夫	早瀬悦弘	稲葉里子	大木作次	秋元 昇	金子健二	中田松雄	船橋 清	孝井恒一	平塚 明	
報告第1号	専決承認	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第2号～報告第3号	専決承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号	専決承認	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号～議案第39号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選任第3号～選任第4号	選任可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	請願不採択	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	○	●	○	●	●	●	●
選任第5号	選任可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 ☆議長 秋元昇は採決には加わらない

件名	内容
報告第1号 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	主に、結城市税条例等の一部を改正する条例について、たばこ税の税率引き上げ等について規定するとともに、固定資産税の課税標準の特例措置について追加規定を設けるもの
報告第2号 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	主に、結城市都市計画税条例の一部を改正する条例について、バリアフリー改修が行われた劇場や音楽堂に係る特例措置について申告手続きを規定するもの
報告第3号 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	主に、定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び夜間対応型訪問介護を提供するものの範囲を従前どおりとするため、所要の改正を行うもの
報告第4号 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について	上記のとおり
議案第38号 結城市企業誘致条例の一部を改正する条例について	新設及び増設の定義を明確化するとともに、新たに市内企業による移設を奨励措置の対象とするもの
議案第39号 工事委託協定の締結について	下水浄化センター改築更新工事委託の協定で、各種施設及び施設に係る電気設備等を更新するもの
選任第3号 結城市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	上記のとおり
選任第4号 結城市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	上記のとおり
請願第1号 主要農作物種子法の復活等をもとめる請願	上記のとおり
選挙第1号 結城市議会副議長の選挙について	上記のとおり
選任第5号 結城市議会議会運営委員会の委員の選任について	上記のとおり

# 不審者への小中学校の対応について 速やかに情報共有と注意喚起を図る



おおさと かつとも  
大里克友 議員

地域ぐるみで、子ども達を守っていきましょう！

## 不審者対策について

**問** 不審者情報への対応について伺います。

**教育部長** 昨年度は18件あり、本年度もこれまでに4件発生しております。また、迅速に不審者情報を共有し、保護者が加入しているメール連絡ネットワークを活用し、メール配信しております。また、現場や事態の詳細を確認するとともに、必要に応じて東西教育事務所や近隣自治体の教育委員会に情報を提供しております。

**問** 連れ去り、連れ回し事案など、重大事態が発生した場合の対応について伺います。

**教育部長** 速やかに情報共有と注意喚起を図り、教員や保護者の付き添いによる登下校や地域住民による見守りパトロールを、関係各位のご協力をお願いしながら実施してまいります。また、各学校では危機管理マニュアルが作成されており、様々な有事発生時には、マニュアルに従った対応ができる

ようになっていきます。しかしながら、登下校時の重大事態が発生した場合の対応については、まだまだ不十分であり、今後、早急に整備してまいりますと考えております。

**問** 近隣自治体との連携について伺います。

**教育部長** 隣接する小山市は、他県ということで、情報の共有化がほとんど図れていない状況であることから、教育委員会が相互に連携を強化し、情報の共有化を推進してま

いりたいと考えております。



## 民生委員・児童委員について

**問** 民生委員の方々のサポートする取り組みと、担当地区の編成について伺います。

**保健福祉部長** 人口や面積、地理的条件、世帯構成の類型を総合的に勘案し、住民に対するサービスが適切に行われるよう、地域の実情に鑑み、弾力的な運用を踏まえたうえで、茨城県と定数の設定について協議してまいります。

**市長** 本市の福祉行政における役割の重要性に鑑み、行政窓口との情報共有が一層図られるよう、努めてまいります。さらに、自治会や社会福祉協議会など関係機関との連

携や、協力関係の強化に努め、民生委員・児童委員が活動しやすい環境の充実に取り組んでまいります。



# 建物価値から利用価値を追求した 新庁舎に！

## 市民満足度の向上や業務の効率化が 図れる庁舎を目指す

### 新庁舎のICT化計画について

**問** 住民サービスや利便性の向上、ECOやバリアフリーのユニバーサルデザイン、防災拠点として安心安全を確保し自治体業務の効率化、コスト低減など利用価値の追求時代に新庁舎ではどのようにICTの活用をイメージしていくのか。

ICTシステムや市民の利便性が向上する機能の充実が求められている。今後策定に着手する、新しい「結城市ICT推進戦略」では、情報社会の変革に確実に対応しながら市民満足度の向上や業務の効率化を図れるよう新庁舎のICT化計画を検討していく。

**市長公室長** 新庁舎のICT化が、業務の効率化のためだけでなく、防災に強いネットワ



## 職員の不祥事防止には 行動指針や内部委員会、 相談窓口の設置を！

### 職員のコンプライアンスについて

**問** 昨今、民間や公的組織を問わず、コンプライアンスが問題になる時代でありコンプライアンス違反、コンプライアンスの体制・姿勢についてどのように取り組んでいくのか。また個人の問題だけでなくどのような組織体制で臨んでいくのか。

ていくとともに、公務員倫理や地方公務員制度といった研修にも力を入れ、全職員のコンプライアンスに対する意識の向上を図っていく。また、職場内における研修であるOJTや、人事評価制度による面談など、各所属において円滑にコミュニケーションがとれる風通しのよい職場環境づくりに努め、職員のコンプライアンスに組織全体で取り組んでいく。

**市長公室長** 職員のコンプライアンスにつきましては、コンプライアンスに関する研修を充実させ



おおし やすのり  
**大橋康則 議員**

利用価値の高い新庁舎をみんなで創ろう！



以上2件の質問の他に、小学校でのプログラミンの必修化について問い、子どもたちの思考力・判断力・表現力の育成に努めて頂けるように要望しました。

# インフルエンザ予防接種無償化へ 助成方法や回数等について検討する

## インフルエンザ予防接種について

**問** インフルエンザが大流行し、学校等で出席停止が多発した状況下でインフルエンザの拡大による影響は大きいことや、子育ての過程上重大な疾病につながりかねないことから、子育て支援の一つとして、今後のインフルエンザ予防についての対策や考え方について。

**保健福祉部長** 小児インフルエンザ予防接種の接種率向上については、平成5年頃までは、集団接種が実施され高い接種率でしたが、全国的に健康被害や有効性等が問題となったことから、任意接種となりました。

子育て支援の観点から、希望者へのインフルエンザ予防接種の助成事業を適宜見直しながら、推進してまいります。

**市長** インフルエンザ予防接種については、接種希望者に対し費用の一部を助成しています。小児インフルエンザ予防接種は、先日、結城市医師会

からも、助成の拡充、及びPR強化の要望がありました。今後、助成方法や助成回数等について、鋭意、検討してまいりますと考えています。



# 水道料金を改定する前にやるべきことはある！

## 水道料金の徴収について

**問** 水道施設は高度成長期に集中的に建設され、およそ50年を経過し、多くの施設が更新時期を迎えようとしている中で、コストの削減策として、隔月検針の導入について、今後の水道料金について。

**都市建設部長** 検針業務の見直しにつきましては、委託料削減の観点から見ますと大きなメリットが考えられるため、今後に

向けて検討してまいります。

**市長** 本町、林浄水場は老朽化が進み将来的に非常に苦しい経営状況が予想される中、水道審議会から、水道料金の値上げの答申がありました。水道料金の検針・徴収業務の改善も含め、より一層のコスト削減を図っていきます。



さとう ひとし  
**佐藤 仁 議員**

インフルエンザの猛威から  
子供達を守ろう！

## 新庁舎の今後のスケジュールは

## 平成32年10月頃の開庁を目指す



あいざわ ひさお  
澤久男 議員

### 新庁舎建設について

**問** スケジュールについて教えていただきたい。

**市長公室長** 本年度につきましては、庁舎建設工事に着手するため、4月23日に工事の起工手続きを行い、5月10日に条件付一般競争入札を公告し、6月4日から6月6日までが入札参加申請期間として、申請の受理を行いました。今後、入札参加資格審査、設計内容の質疑応答を行った後、7月12日に開札を執行、落札

者と仮契約を締結する予定です。仮契約後直ちに、市議会に本契約締結の議案を上程させていただき、議会での議決をもって本契約となります。

庁舎建設工事の着手につきましては、本契約後2か月程度の準備期間を設けた10月頃に現場着手となる見込みであり、順調に工事が進めば約2か月の工事期間を経て、平成32年7月に庁舎建設工事が完成する予定です。その他の関連工事として、駐車場整備、備品・什器類の搬入、情報通信

設備等の設置を行い、平成32年10月頃の新庁舎への移転・開庁を目指しております。

### 市・県民税申告会場について

**問** 今は申告の時期ではありませんが、申告会場変更の理由を分かりやすく教えていただきたい。

**市民生活部長** マイナンバー制度の導入に伴い、所得税確定申告書及び市民税・県民税申告書へのマイナンバーの記載が

義務化され、平成29年度から本格運用が開始されております。そのため、申告受付用のパソコンを、本市の住民基本台帳システムに接続し、マイナンバーを確認できる環境が必要となりました。しかしながら、本市の住民基本台帳システムへ接続でき

る施設は、個人情報情報の漏洩防止等、住民情報を適切に管理するため、市本庁舎、分庁舎、出張所、市民文化センター、アクロス及び市民情報センターに限られております。絹川地区多目的集会施設

と上山川就業改善センターにつきましては、本市の出張所に隣接していないため、住民基本台帳システムに接続することができませんので、絹川地区と上山川地区の申告会場を変更する必要がありますしました。

### 結城第一工業団地上山川北部地区について

**問** 進捗状況について伺います。

**産業経済部長** 企業のニーズを工業団地造成計画

に反映するため、土地区画整理組合の設立認可に先立ち、平成29年10月、市土地開発公社が主体となって、進出予定企業の募集を行いました。平成30年4月には、分譲予定区画の全てを内定することができております。正式契約ではございませんが、事業の進行が見込める状況でございます。



▲工業団地整備予定地

# 子どもの貧困は親の貧困対策も必要 健やかな成長の支援をしていく

## 子どもの貧困について

**問** 日本の子どもの貧困率は2015年OECD36か国中13番目で13・9%の貧困率です。また、ひとり親家庭の子どもの貧困率は50・8%です。子どもの貧困は子どものみを対象とするのではなく、親世代も同時に対象としなければ解決しません。今後の取り組みについて伺います。

**保健福祉部長** 子ども食堂についてはボランティア

イアの役割など運営方法に係る課題や事業実施の成果について、検証が必ず必要な時期であることから、今後の事業展開や方向性を見極めたうえで、必要に応じた支援を検討します。生活困窮者就労準備支援事業については、国でも、積極的な実施を推進しておりますので市民のニーズや事業内容等、

他市町村の動向を参考に、更なる支援体制の充実に向けて検討します。

**市長** 教育・保健・福祉の分野における連携を一

層強化し、子どもたちの健やかな成長を、支援してまいります。



## 商店版リフォーム補助について

**問** 茨城県の商店街実態調査（平成29年6月～11月）結果によれば、衰退している主な要因としては、「魅力ある店舗の有無」が最も多く、次いで「大型店の影響」「地域人口の増減」「後継者の有無」の順になっています。地域経済への波及効果やまちづくりに必要な役割を果たしている商店を応援する制度として、商店版リフォーム補助制度の導入を求めて質問します。

## 産業経済部長 観光振興と、これに伴う商業振興を計画的に推進するため、『結城市商業観光振興計画』の策定を進めてまいります。地域資源を生かした結城市独自の商業観光振興計画を策定することで、観光振興が図られ、商業の活性化にもつながるものと考えております。商店版リフォーム補助制度につきましても、観光と絡める事で相乗効果も期待できることから、この計画に位置づけして検討してまいりたいと考えております。

以上



以上の質問の他に、子どもの学習支援事業について、生活保護基準の引き下げによる就学援助への影響についての質問を行いました。



たいら ようこ  
**平 陽子 議員**

自治体の役割と取り組みが重要です。

## 市道5234号線の早期整備を

### 費用対効果を含めて慎重に検討する



ひらつか あきら  
平塚 明 議員

市道5234号線の整備は地元の切実な要望です。

#### 消防団活動について

**問** 消防団員は、消防本部や消防署と連携し、災害の発生に際し、最前線につき、地域防災力の中核を担っていただいております。消防団員の数の推移と支援策について伺いたい。

市ホームページに消防団サイトを設け、活動のPR等を通して消防団員募集を行っているところでございます。

団員への支援策としては、市内にある店舗などの事業所を対象に、消防団員やその家族が店舗等を利用した場合に、割引や特典などのサービスが受けられるようにする制度として、平成28年度から「結城市消防団サポート事業所」制度を開始しており、消防団員への各種サービスの提供、サポートを行って



▲消防団の水防訓練の様子

ります。新入団員が災害現場で安全に活動できるようにするための基礎的訓練を速やかに行うよう、各分団に指示をするなど、消防団本部と協議し、団員の負担軽減を図っていると伺っています。

#### 健康保険事業及び介護保険事業について

**問** 各種保険料について、保険料の見直しを行わなければならない理由など、市民に寄り添った啓発が必要である。現状について伺いたい。

**保健福祉部長** 制度改正や保険料等の見直しが行われましたので、広報紙・ホームページへの掲載だけでなく、保険証や納税通知書の送付と合わせてのパンフレット等の配布や、介護保険利用計画

の全戸配付を予定しております。周知・啓発に努めています。

#### 市道5234号線の整備について

**問** 通学路でもあり、地元の重要な生活道路だが、7年間事業が進んでいない状況である。今後の整備方針を伺いたい。

**市長** 市道5234号線の整備につきましては、地元住民の切実な要望であると認識しております。今後の整備につきまして



▲道幅の狭い市道5234号線

は、市の負担額が多額になることから、費用対効果なども含めて、慎重に検討してまいりたいと考えます。

# 着地型観光による稼げる力の構築を 商業観光振興計画を策定する

**結城市商業観光振興計画の策定事業について**

**問** 地域資源を生かした着地型観光の推進のため、観光協会の役割の拡大、多様化の中で、稼ぐ力を持つ、一定の社会的権利・能力を有する法人格を取得していただき、自立して頑張っていたいただきたい。本計画策定にあたっての取り組みを伺いたい。また、観光地域づくりを進める「DMO」観光づくり法人を設立し、持続的な経済効果を構築する

動きがあるが、その取り組みについて伺いたい。

**産業経済部長** 観光について、計画的に事業を進めるため、本年度「結城市商業観光振興計画」を策定いたします。本計画は、本市が観光に対する考え方を明確にする初めての計画であり、関係者の役割を定めて官民一体となって取り組むための指針となるものです。また、商業と観光を一体的にとらえ外からの経済効果が期待できる地域経済活性化策のひとつと考え

ております。行政、観光協会、商工会議所、並びに商店を含む市民の位置づけを明確にし、組織編制や組織強化も図り、既存団体・既存祭事に関して、「稼げる観光」を目指してまいります。

**市長** 観光協会の法人化や、日本版DMOの設立については、商業観光振興計画に盛り込んだうえで、検討を行っていく。



## 支え合う・住みよい社会・地域から 民生委員制度100周年を契機に 民生委員協力員への取り組みを

**民生委員・児童委員について**

**問** 民生委員・児童委員の活動は、今後ますます重要度が高まると思うが、業務負担の軽減や活動の充実を図るため、本市でも、しっかりと検討すべき時期に来ているので、その取り組みについて伺いたい。

**保健福祉部長** 他の自治体における民生委員協力員など先進的な取り組み状況等を参考に、本市の民生委員・児童委員が直

面している課題や地域特性について聞き取りを行い活動への支援策を検討してまいります。

**市長** 民生委員・児童委員の皆様には、福祉行政の推進に重要な役割を担っていただいていると認識しています。

地域の人々をつなぐ存在と活動に対する期待は、大きくなると考えます。地域の理解者として、活躍されま  
すようお願い申し上げます。



ゆもと ふみお  
**湯本文夫 議員**

災害に備え、防災意識を高めましょう。

# 認知症の方への見守り体制について

## 認知症初期集中支援チームを設置



くろかわ みつお  
黒川充夫 議員

暑い日が続きます  
体に十分気をつけて下さい

**食品ロスの削減について**

**問** 新たな先進事例などを参考にして頂き、今後の対策と課題等について。

**市民生活部長** 今後、市ホームページや広報結城等を活用し、さらに啓発活動を推進するとともに、全国的に広がりを見せている「30・10運動」「フードバンク」を関係機関と連携し、効果的な啓発方法を検討してまいります。

**高齢者の運転免許証の自主返納について**

**問** 高齢者の運転免許証自主返納に向けた普及啓発の取り組みについて。

**市民生活部長** 自主返納制度の普及啓発ですが、結城警察署の取り組みとしては、高齢者を対象とした安全講話を年20回ほど実施し、その中で運転免許自主返納制度の説明をしております。市内巡回バスの利便性を高めることにより、高齢者の通院や買い物といった移動

手段を確保し、閉じこもり防止にも繋がっているものと考えています。



**認知症対策について**

**問** 「新オレンジプラン」で、平成30年度から全ての市町村で実施する認知症初期集中支援チーム設置の進捗状況について。

**保健福祉部長** 平成30年4月1日に、結城市認知症初期集中支援チームを

地域包括支援センターに設置しました。この組織の目的は、地域で暮らす認知症の方や認知症の疑いのある方、その家族に對して、専門的な知識及び技能を有する医師の指導のもと、医療・福祉の専門職が家族の訴え等により訪問し、観察・評価、家族支援等を行い、自立生活のサポートを行うこととです。



**「住宅セーフティネット制度」について**

**問** この制度で結城市として、どのような対応ができるのか。

**都市建設部長** 「住宅確保要配慮者」に対し市営住宅に率先して受け入れることに努め、「住宅セーフティネット制度」も都市行政部局及び住宅確保要配慮者を把握する福祉行政部局と連携し検討することに努めます。

**ＬＬブックの導入について**

**問** 他自治体の事例及び導入に對しての課題は。

**教育部長** 今後、学校図書館や特別支援学級におけるＬＬブックの活用方法や効果などを研究するとともに、「学校図書館ガイドライン」で示された図書館資料の整備充実につきまして、学校と連携を図りながら推進してまいります。

## 医療福祉系大学誘致推進事業について

**問** 結城看護専門学校を基盤にすることで誘致基準の条件がクリアできると思います。これまでの経緯と卒業生の看護師国家試験の合格率、就職状況を伺います。

**市長公室長** 結城看護専門学校は、県西地域の医療に必要な看護職員の養成確保と資質向上を図るため、平成3年6月に10億円（内訳、県7億5千万円、結城市2億3千万

円、筑西広域市町村圏事務組合2千万円）を基本財産に、財団法人茨城県看護教育財団を設立した。平成5年4月に開校し現在にいたる。国家試験の合格率は、平成27年度94・4%、28年度97・4%、29年度は100%の合格率です。平成29年度までに934人の卒業生を輩出し、その中で773人が県内に、そのうち429人が県西地域に就職している。

**問** 市は、これまで全く新しい大学の誘致を考

えて調査を行ってきたが、結城看護専門学校を基礎として大学誘致を行えばかなりの条件がクリアできると思う。さらに新庁舎ができれば、分庁舎も利用できると思いますが、いかがでしょうか。

**市長公室長** 結城看護専門学校は、公益財団法人により運営されており、財団の取り組みと歩調を合わせながら、様々な角度から検討していきたいと考えております。

**市長** 看護専門学校を主

体とした可能性を含め、今後も、様々な角度から検討していきたい。

## 伝統工芸館の整備について

**問** 建物は改修が引き続き行われる計画です。庭や駐車場は狭いので結城の伝統工芸館に相応しい公園化と観光バスが入りやすい駐車場、桑の木や桐の木の下で休憩したり子供たちが遊ぶことのできる施設にしていきたい。

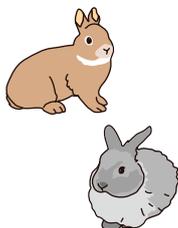
**産業経済部長** 施設の維持管理面の課題であります。植栽整備を含む樹木や花壇の管理、大型車を含む駐車場の利用方法等を計画的に改修できるように検討し、来館者が気持ちよく利用できるように考えます。

## 小学校動物飼育舎の改築について

**問** 小学校の動物飼育舎の改築をお願いします。小学校の飼育動物は情操教育に役立つものです。子供たちが学校にいる時

は、動物たちに触れ合うことのできる動物舎にしたいです。

**教育部長** 老朽化した飼育舎の現状から判断しますと、今後は改築や改修を進めていく必要があると認識しております。小動物に対しての環境面や衛生面を改善するとともに、子供たちが清掃しやすく、気軽に触れ合える飼育舎の環境整備に努めて参りたいと考えます。



## 医療福祉系大学誘致推進事業について

様々な角度から検討していく



あんどう やすまさ  
**安藤泰正 議員**

動物から情操教育，子供たちに夢を

## 縮小社会に向けての今後の市政運営

### 厳しい状況の中でも総合計画策定



かねこ けんじ 議員  
金子 健二

第6次結城市総合計画に  
小中一貫校の方向性を!!

#### 総合計画の趣旨について

**問** 結城市総合計画は、第1次策定以来現在第5次総合計画後期基本計画実施中です。これまでは、日本経済が高度成長期、安定成長期時代に策定されたが、第6次結城市総合計画では、人口減少等による縮小社会を迎える中での策定にあたり、趣旨基本的な考え方等について伺いたい。

**市長公室長** 総合計画は、地方自治体が長期的な展

望にたったまちづくりを進めるため、各自治体の将来像を明らかにし、その実現に向けた施策の方向性を示す、地方自治体における「最上位計画」です。一般的に総合計画は、基本構想をもとに、基本計画と実施計画の3つの計画によって構成されており、基本構想は、施策や事業における基本理念であり、自治体の将来都市像を明らかにし、その実現のための施策の大綱を定めるもので、市政運営を総合的かつ計画的に行う指針となるも

のです。基本計画は、基本構想で定めた将来都市像や基本目標を実現するための施策体系を示すもので、各施策の方向性、現状値、目標値などを設定いたします。実施計画は、基本計画の中に示された施策を実現する具体的な事業を示したものであり、中期の「基本計画」と短期の予算配分を橋渡しする役割を担っております。

**小中一貫校（義務教育学校）について**  
**問** 小中一貫校（義務教育学校）については、これまで多くの質問がなされており、積極的な連携活動、慎重なる検討と終始答弁してまいります。現況を伺います。

**教育長** 複数の学校の統合を伴う小中一貫教育の課題としましては、通学区が広がること、特別教室等の施設を増やすこと、小学校高学年のリーダーシップの育成が図

られにくくなることなどがあげられます。本市におきましては、これまでの小中連携教育の成果を生かし、児童生徒・学校・地域の実情を踏まえた上で、未来に生きる子どもたちの基礎となる義務教育9年間を連続した教育として捉え、より質の高い教育をめざし、各中学校区における実質的な小中一貫教育を推進してまいります。

また、今後5年間の児童生徒数は、緩やかな減少傾向を示すものの、複式学級は編成されないこ

と、各小学校が地域の拠点となっていること、さらに茨城県教育委員会が示している地域の実情や児童生徒数の推移に配慮した学校の適正規模・適正配置などを総合的に判断し、小中一貫教育を実践する中で「義務教育学校」や「小中一貫型小学校・中学校」の設置につきまして、研究・検証を進めてまいりたいと考えております。



# 委員会活動 レポート

市の仕事は様々な分野にわたっていることから、総務、産業・建設、教育・福祉の3つの常任委員会を設置し、それぞれ分担しながら、専門的な審査と調査を行っています。

総務委員会は、副市長・関係部課長の出席を求め、6月12日に開催されました。初めに、コワーキングスペース「yuinowa（ゆいのわ）」を現地調査してまいりました。

「yuinowa」におけるコワーキングスペースの機能として、個人オフィス利用、人材育成事業、創業支援事業、テレワークに取り組む首都圏企業の従業員受け入れを行っており、トライアルワークステイを開催するなど、移住・定住相談窓口としての機能を果たしている場との説明を受けました。

審査は、結城市固定資産評価審査委員会の委員の選任についての選任2件について行われました。

なお、審査の結果、付託された選任2件については、すべて原案のとおり可決されました。

## ●総務委員会



▲説明を受けている様子

## ●産業・建設委員会



▲yuinowa

産業・建設委員会は、市長・関係部課長の出席を求め、6月13日に開催されました。初めに、コワーキングスペース「yuinowa」を現地調査してまいりました。

「yuinowa」は、中心市街地の賑わい創出づくりの中で、蔵造りの空き店舗を活用した施設であり、TMO結城の職員2名が現場常駐し、運営を行っているとの説明を受けました。

審査は、付託されました結城市企業誘致条例の一部を改正する条例についての条例関連議案1件、工事委託協定の締結についてのその他の議案1件の計2件及び、主要農作物種子法の復活等をもとめる請願の請願1件について行われました。

なお、審査の結果、議案2件については、原案のとおり可決されましたが、請願については、賛成少数をもって不採択と決定しました。

教育・福祉委員会は、副市長・教育長・関係部課長の出席を求め、6月14日に開催されました。初めに、企業主導型保育事業実施施設「あいわ保育園」を現地視察してまいりました。

国では、平成28年度から従業員が働きながら子育てしやすいように環境を整えて、離職の防止、就労の継続、女性の活動を推進する企業を支援しております。「あいわ保育園」は、企業主導型の事業所内保育事業を主軸として、多様な就労形態に対する保育サービスの拡大を行い、保育待機児童の解消を図り、仕事と子育てとの両立に資することを目的としているとの説明を受けました。

## ●教育・福祉委員会



▲あいわ保育園

# 議員表彰

県西市議会議長会より、中田松雄議員、早瀬悦弘議員に議長・副議長在職中の功績を称えられ、感謝状が授与されました。

また、全国市議会議長会及び県市議会議長会より、議員15年として、金子健二議員、秋元昇議員、大木作次議員にそれぞれ市政の発展に尽くされたことに対し、表彰状が授与されました。



秋元 昇  
議員



金子 健二  
議員



中田 松雄  
議員



早瀬 悦弘  
議員



大木 作次  
議員



## 朗読

ゆうき市議会だよりは、目の不自由な方向けに、ボランティアグループ「ボイスフレンド」の皆さんのご協力をいただき、毎号、CD版の発行や対面朗読を行っています。  
ご希望をされる方につきましては、社会福祉協議会（☎33・0225）までお問い合わせください。

## 議会を傍聴しませんか

受付で住所、氏名などを記入するだけで簡単に傍聴できます。  
詳しいことは、議会事務局まで（0296-32-1111 内線 304・305）

### 平成30年第3回定例会のお知らせ

#### 結城市議会 次回定例会の開催予定

9月	5日	本会議（開会）
	6日・7日	一般質問
	10日・11日・12日	常任委員会
	13日・14日・18日	決算特別委員会
	21日	本会議（閉会）

（日程が変更になる場合もあります。）

## 議会情報推進委員会

委員会の構成が変わりました

- ◎秋元 昇 ○黒川 充夫 大橋 康則
- 佐藤 仁 金子 健二 平塚 明

## 編集後記

世界的にはオリンピックを凌ぐと言われていたサッカーワールドカップ。2018年ロシア大会が開幕した。日本はFIFAワールドカップには6回連続で出場してきたが、今大会では直前での監督交代があり、選出されたメンバーも中堅とベテランを優先し有望な若手は選ばれなかったので大会前にもかかわらず関心が薄く期待感もないような状況である。大きな理由は世代交代という新陳代謝がないことと目新しさが感じられないこと。

行政運営がマンネリ化して期待できない状況と同じことが言えるのではないか。新しい目線で常に地域の活性化が図られ、地域のリーダーが現れ、次代にワクワクするような期待感が持てるような環境が必要である。

（その後、本大会では、日本は躍進しベスト16入りし日本中が盛り上がった。）

（情報推進委員）



## 表紙によせて

表紙はホテル祭りの様子です。ホテル祭りは、水質浄化に対する意識向上を図ることを目的に催され、今年で22回目の開催です。800匹のホテルが放つ幻想的な光りが広場を照らしました。